

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質								3.1
Q1 室内環境					0.40			3.6
1 音環境				3.4	0.15	3.0	1.00	3.1
1.1 騒音				4.0	0.40	4.0	0.40	
1.1.1 騒音								
1.1.1.1 室内騒音レベル		共用:40<騒音レベル 45 居室:35<騒音レベル 40		4.0	1.00	4.0	1.00	
1.1.1.2 設備騒音対策				-	-	-	-	
1.2 遮音				3.0	0.40	3.0	0.40	
1.2.1 開口部遮音性能				3.0	0.40	3.0	0.30	
1.2.2 界壁遮音性能				3.0	0.60	3.0	0.30	
1.2.3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0	-	3.0	0.20	
1.2.4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	-	3.0	0.20	
1.3 吸音				3.0	0.20	1.0	0.20	
2 温熱環境				3.1	0.35	3.0	1.00	3.0
2.1 室温制御				3.3	0.50	3.0	0.50	
2.1.1 室温				3.0	0.38	3.0	0.57	
2.1.2 負荷変動・追従制御性				-	-	-	-	
2.1.3 外皮性能				3.0	0.25	3.0	0.43	
2.1.4 ゾーン別制御性		ゾーン別に冷房・暖房の選択が可能な空調システムとしている		4.0	0.38	-	-	
2.1.5 温度・湿度制御				-	-	-	-	
2.1.6 個別制御				-	-	-	-	
2.1.7 時間外空調に対する配慮				-	-	-	-	
2.1.8 監視システム				-	-	-	-	
2.2 湿度制御				3.0	0.20	3.0	0.20	
2.3 空調方式				3.0	0.30	3.0	0.30	
3 光・視環境				3.1	0.25	4.1	1.00	3.8
3.1 昼光利用				3.6	0.30	4.2	0.30	
3.1.1 昼光率		居室:4.8% 共用:2.35%		4.0	0.60	5.0	0.60	
3.1.2 方位別開口				-	-	3.0	-	
3.1.3 昼光利用設備				3.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 グレア対策				3.0	0.30	4.0	0.30	
3.2.1 照明器具のグレア				-	-	-	-	
3.2.2 昼光制御		カーテンと庇(バルコニー)の組合せ		3.0	1.00	4.0	1.00	
3.2.3 映り込み対策				-	-	-	-	
3.3 照度				3.0	0.15	3.0	0.15	
3.4 照明制御		ベッド単位の細かな照明制御ができる		3.0	0.25	5.0	0.25	
4 空気環境				4.7	0.25	4.3	1.00	4.4
4.1 発生源対策				5.0	0.50	5.0	0.63	
4.1.1 化学汚染物質		F 及びホルムアルデヒド以外のVOCについても放散量が少ない建材を全般的に採用		5.0	1.00	5.0	1.00	
4.1.2 アスベスト対策				-	-	-	-	
4.1.3 ダニ・カビ等				-	-	-	-	
4.1.4 レジオネラ対策				-	-	-	-	
4.2 換気				4.0	0.30	3.3	0.38	
4.2.1 換気量				3.0	0.50	3.0	0.33	
4.2.2 自然換気性能		自然換気有効面積が居室床面積の1/10以上		3.0	-	4.0	0.33	
4.2.3 取り入れ外気への配慮		空調屋外機を屋上に設け共用部と隔離を持たせている		5.0	0.50	3.0	0.33	
4.2.4 給気計画				-	-	-	-	
4.3 運用管理				5.0	0.20	-	-	
4.3.1 CO ₂ の監視				3.0	-	-	-	
4.3.2 喫煙の制御		施設内は全面禁煙		5.0	1.00	-	-	
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	3.3
1 機能性				3.3	0.40	4.2	1.00	3.9
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	5.0	0.60	
1.1.1 広さ・収納性		居室有効面積:12.8㎡		3.0	-	5.0	1.00	
1.1.2 高度情報通信設備対応				3.0	-	3.0	-	
1.1.3 バリアフリー計画				3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性				3.0	0.30	3.0	0.40	
1.2.1 広さ感・景観				3.0	-	3.0	0.50	
1.2.2 リフレッシュスペース				3.0	-	-	-	
1.2.3 内装計画				3.0	1.00	3.0	0.50	
1.3 維持管理				4.0	0.30	-	-	
1.3.1 維持管理に配慮した設計		内壁:ビニルクロス、床:塩ビシート、外部階段にメッキ処理材を採用		4.0	0.50	-	-	
1.3.2 維持管理用機能の確保		廃棄物のスペース確保、清掃用流しの設置他		4.0	0.50	-	-	
1.3.3 衛生管理業務				-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性				3.2	0.31	-	-	3.2
2.1 耐震・免震				3.0	0.48	-	-	
2.1.1 耐震性				3.0	0.80	-	-	
2.1.2 免震・制振性能				3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数				3.3	0.33	-	-	
2.2.1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.23	-	-	
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				3.0	0.23	-	-	
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		床にビニル床シート、壁にビニルクロス仕上げを採用		5.0	0.09	-	-	
2.2.4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.08	-	-	
2.2.5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水:塩ビライニング鋼管 汚水排水:硬質塩化ビニル管		4.0	0.15	-	-	
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.23	-	-	

2.4 信頼性		3.6	0.19	-	-	
1 空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備	節水器具の採用、受水槽は二基の水槽を分離して設置	4.0	0.20	-	-	
3 電気設備	非常用発電設備を備える。電源の地下への設置を避ける。	4.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備	通信手段の多様化を図ると共に、精密機器の地下への設置を避けている	4.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性		3.1	0.29	2.4	1.00	2.6
3.1 空間のゆとり		3.4	0.31	1.8	0.50	
1 階高のゆとり		3.0	0.60	1.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ	壁長さ比率:0.27 宿泊部分:0.49	4.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり		3.0	0.31	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性		3.0	0.38	-	-	
1 空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	
2 給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-	
3 電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
4 通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
5 設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	
6 バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	2.4
1 生物環境の保全と創出		1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮		3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	3.0
LR1 エネルギー		-	0.40	-	-	2.8
1 建物の熱負荷抑制		2.0	0.30	-	-	2.0
2 自然エネルギー利用		3.0	0.20	-	-	3.0
2.1 自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50	-	-	
2.2 自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化	ERR = 11.8%	3.6	0.30	-	-	3.6
集合住宅以外の評価 (ERRによる評価)		3.6		-	-	
集合住宅の評価	ERR=11.8%	-		-	-	
4 効率的運用		3.0	0.20	-	-	3.0
4.1 モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル		-	0.30	-	-	3.4
1 水資源保護		3.0	0.15	-	-	3.0
1.1 節水		3.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.33	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減		3.4	0.63	-	-	3.4
2.1 材料使用量の削減		3.0	0.07	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-	
2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.05	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	LGSによる乾式工法	5.0	0.24	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避		3.6	0.22	-	-	3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用	化学物質排出把握管理促進法の対象物質を含有しない建材種別4以上	5.0	0.32	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避		3.0	0.68	-	-	
1 消火剤		-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
3 冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境		-	0.30	-	-	3.0
1 地球温暖化への配慮	ライフサイクルCO2排出率91%	3.3	0.33	-	-	3.3
2 地域環境への配慮		2.9	0.33	-	-	2.9
2.1 大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制		2.7	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮		2.8	0.33	-	-	2.8
3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
1 騒音		3.0	1.00	-	-	
2 振動		-	-	-	-	
3 悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害・砂塵・日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3 日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制		2.3	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		2.0	0.70	-	-	
2 壁光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	